

プログラミング・エキスパート育成事業について

1 趣旨・目的

県内中高生にプログラミング学習の機会を提供することにより、中高生のプログラミングスキルの向上を図り、IT教育先進県を目指す。

2 令和3年度の主な事業内容

- ・「参加者トレーニング」オンラインスクールでの個別指導を実施（40名：選抜）
- ・「アソシエイト支援」アプリ開発に必要な学習サービスを提供（1,000名）

【主な成果】

- ・全国中学生創造ものづくりコンテスト(ロボット) 全国優勝1チーム、全国ベスト8 1チーム
- ・全国高校生AIアスリート選手権(AIの活用) 全国優勝1名
- ・日本情報オリンピック(競技プログラミング) 優秀賞(Aランク)1名

3 令和4年度の事業内容

○「情報Ⅰ」オンライン学習サービス提供（新規）

今年度より新学習指導要領が施行され、必修科目「情報Ⅰ」で「プログラミング」等の内容が盛り込まれている。今年度「情報Ⅰ」を開講する県立高校等53校の生徒(約8,500人)に、プログラミングを含めた「情報Ⅰ」の内容を網羅しているオンライン学習サービスを提供した。

【使用教材】

ベネッセコーポレーション株式会社「Pスタディ」「Pプラス ベーシック」

- ・Pスタディ：情報Ⅰ全領域対応の補助教材
- ・Pプラスベーシック：情報活用能力を測るCBT形式の理解度テスト

○「参加者トレーニング」

- ・募集期間：7月上旬から参加者募集を開始
- ・実施期間：令和4年8月27日（土）から令和5年3月19日（日）[半年間]

○「アソシエイト支援」

- ・募集期間：6月22日より参加者募集を開始
- ・実施期間：令和4年7月8日（金）から10月7日（金）[3か月間]

問い合わせ先
高校教育課 指導担当 宮内
内線 5267

新情報Ⅰオンライン学習サービス



要点

- 今年度から高校で始まる「プログラミング教育」に対応
- 今年度「情報Ⅰ」を履修する全県立高校生に、授業でも自主学習でも利用できる補助教材を提供
- 併せて、教員向けの研修、生徒への理解度テストも実施予定
- この教材を使った全県での取り組みは、全国初

教材

ベネッセコーポレーション「Pスタディ」



- 「情報Ⅰ」全領域対応のwebアプリ
- スライド、動画教材、確認問題の他に、プログラミングなどの実習型教材を含む
- プログラミングに関しては、アプリ制作に必要な知識を習得する内容を含む

「Pプラス ベーシック(CBT型テスト)」

